

施工仕様書 「セラファイラーカチオン(1材)」

| | |
|--------|--|
| 用途 | 住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物（新築・改修）の内外壁面。 |
| 適用下地 | 旧塗膜面、磁器タイル等の改修下地。コンクリート面、セメントモルタル面、プレキャストコンクリート部材、ALCパネル、その他各種板・ボード類等。 |
| 施工不可部位 | 天端（笠木・手すり・セットバック等）や幅木、パラペットの施工は避けてください。 |

- ※ 本施工の前に必ず試験塗装を行い、希釈量（粘度）・塗装量（厚み）・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗装面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23℃(湿度50%)の場合ですが、低温・高温等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。

【標準施工仕様】

| 工程 | 使用材料名と調合割合 | 所要量 (kg/m ²) | 使用器具 | 回数 | 間隔時間 |
|----|------------|--|--------------------------------------|----|--------|
| 1 | 下地調整 | ・新設下地の場合、補修・清掃を実施した上、必ず下地の種類に応じたシーラー処理をしてください。 ・改修の場合、旧塗膜の状況や素地の状態に応じ、必要な処理および下地調整をしてください。 (脆弱塗膜の除去、水洗(24時間以上乾燥)、補修、シーラーや下地調整塗材塗布など) | | | |
| 2 | 下塗り | セラファイラーカチオン(1材) 16kg 清水 6.0~6.5kg | 1.0~3.0 (約1~2mm 厚時) ・左官用金コテ | 1 | 24時間以上 |

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件等により多少の差異を生じる事がありますのでご了承ください。

※ALCパネル、軽量気泡コンクリート、コンクリートブロック面の施工で1回塗布で不十分と思われる場合は2回塗装します。

※ 注意事項

- ・表面に付着しているエフロレッセンスによる白粉、未硬化セメント粉、劣化塗膜等の汚れはブラシ、サンドペーパーで除去し、必要に応じて水洗いしてください。
- ・型枠離型剤等の油脂類が付着している場合は、シンナーや洗浄液などで除去してください。
- ・下地の不陸、段違いはサンダーで平滑にして調整し、クラック、ピンホール、巣穴、ジャンカ等は左官工法によって補修し、硬化、乾燥を十分に行ってください。
- ・下地の取付金具、釘類等は亜鉛メッキなどで防錆処理しているものをご使用ください。

セラファイラーカチオン(1材)

- ・所要量は清水込みの数値です。
- ・調合は必ず上記清水量の範囲内で実施してください。また調合の水は清浄な水を使用してください。
- ・調合する場合は、粉体全量を一度に混合使用してください。少量だけ混合しますと粉体に含まれる粉末樹脂量に過不足を生じることがあり、塗膜の強度不良を生じることがあります。
- ・調合後の可使用時間(ポットライフ)は約1時間です。
- ・1回の最大塗厚は約3mmまでとしてください。
- ・セラファイラーカチオン(1材)が完全に乾燥してから次工程に進んでください。
未乾燥で仕上材を塗り重ねる仕上がりがムラや膨れ等を生じることがあります。
- ・ローラー施工は出来ません。
- ・施工中や乾燥途中に降雨(降雪)にあいますと、白華(エフロ)を生じたり剥離することがあります。